

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

|       |                                                 |
|-------|-------------------------------------------------|
| 施設名   | AIAI NURSERY第二東池袋                               |
| 施設所在地 | 東京都豊島区東池袋4丁目2番1-201号 ブラウドタワー東池袋<br>ステーションアリーナ2階 |
| 法人名   | AIAI Child Care株式会社                             |

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

【気持ち】

<テーマの設定理由>

昨年度【多様性】をテーマにクラス活動を実施。みんな違ってみんないいという考えを巡らせて行く中で、「悲しい」「嬉しい」「ありがとうの気持ち」などの「気持ち」に関する言葉が出ていた。【気持ち】に関することに興味を抱き、言葉にしていることから、相手の気持ちを知り、思いやりの心を持ってもらいたい思いからも、昨年度からの連続性を持って、【気持ち】をテーマとした。

## 2. 活動スケジュール

7月～問い【気持ちってなんだろう】 写真に写したものの気持ちを表現してみよう。  
8月～問い【サイレンってなんで赤？】 写真から感じる気持ちを、数字、色で表現してみよう  
9月～問い【Thank youとありがとうは一緒？？】 いろいろな言葉を探して、調べて、集めてみよう  
10月～問い【標識の形はなんで違うの？】 気持ちを形、色、数字を使用して表現してみよう  
11月～問い【お仕事している人たちの気持ちは？】 お仕事している人たちにインタビューをして、気持ちをお手紙で伝えてみよう  
1月～問い【お仕事している人たちの気持ちは？】 自分たちの発表会の劇に働いている人たちの気持ちを取り入れて創作しよう。また、実際に働いている人の気持ちを体験してみよう。  
3月～問い【気持ちはどうやって伝える？】 気持ちをお父さん、お母さんに伝えよう 在園児の子どもたちに気持ちを伝えよう

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

子どもたちが各々に探究活動ができるようキッズカメラを用意。より自分の気持ちを表現できるよう様々な製作素材を用意し、自分で選択して自由に表現活動ができるようにした。また、働く人の気持ちなどを探究するために地域の方々にも協力を仰ぎ、実際に働く経験ができるよう計画。気持ちを伝える方法や気持ちに気づくためのきっかけ、自分たちで調べる為の教材として多数の本なども用意した。さらに、より探究する思考を促していくために、運動動画教材や教育プログラムテキスト教材などを取り入れながら実施した。

## 4. 探究活動の実践

### <活動の内容>

7月～問い【気持ちってなんだろう】 写真を撮って、その写真にコメントをつけて写真絵本の作成。  
8月～問い【サイレンってなんで赤?】 写真から感じる気持ちを、絵具や数字玩具を使用しての表現活動を実施。  
9月～問い【Thank youとありがとうは一緒??】、いろいろな気持ちの言葉を多国籍の方に聞いてみたり、絵本で調べてみたりして、表現活動を実施。  
10月～問い【標識の形はなんで違うの?】 気持ちを絵の具や様々な製作素材を使用して、形、色、数字に表す表現活動  
11月～問い【お仕事している人たちの気持ちは?】 地域のお店に出向き、インタビューを実施し、ありがとうの気持ちを表現したお手紙作成  
1月～問い【お仕事している人たちの気持ちは? part2】 発表会の劇の創作、キッズニア東京での職業体験  
3月～問い【気持ちはどうやって伝える?】 家族へのお手紙作成、在園児への大型絵本の読み聞かせ実施

### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

子どもたちは遊びの中、戸外活動の中で「どうしてサイレンは赤なのか」「高い場所でお仕事している人は恐くないのかな」「標識はどうして△や赤なのか」など気持ちにつながる気づきの言葉を投げかけてくれていた。その言葉を保育者は拾いながら活動を展開。子どもたち同士で自分たちが表現した作品を見合ったり、インタビューをしてみたり、自分たちで働くことを経験することで、形のない【気持ち】というものを感じ、思考する様子が多く見られた。



## 5. 振り返り

### <振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちが表現する【気持ち】は、大人の先入観を超えて表現されており、例えば【嬉しい】気持ちを大人は明るい色で表現しがちだが、子どもたちは落ち着いた色で表現している時もあった。それは子どもたちが【好き】な色であり、【好き】な色だからこそ【嬉しい】として表現したことに気づかされ、子ども理解の重要性を再認識をした。また、【気持ち】をテーマにして探究活動を1年間通して行ったことで、子どもたちが自分の【気持ち】を安心して表現してよいのだと感じてもらえるように保育を行うことの大切さも改めて感じた。次年度も、すくわくの活動も含め、日々の保育を省察し、子どもたちが安心して自分の【気持ち】を表現し、探究する思考を促していけるようにしていきたい。